

登録コード	A3590302		開講年度	2026					
授業科目	科学英語Ⅱ					担当教員	大神田 淳子		
英文授業名	Scientific English Ⅱ								
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	非該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】		
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ								
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	英文の文献を読んで内容を理解し自らの実験に役立てられる能力を修得している。		
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	自らの研究成果を英文スライドを作成して発表できる能力を修得している。		
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ								
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	英文の文献を読んで内容を理解し自らの実験に役立てられる能力を修得している。		
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	自らの研究成果を英文スライドを作成して発表できる能力を修得している。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	(1) 英語の文献を読み、正しく理解し、実験計画を立てる。 (2) 英語による初歩的な実験レポートの書き方を習得する。 (3) 英語によるプレゼンテーションの練習を行う。 (4) 外国人研究者の研究発表を聞き、理解する。 (5) 機会があれば、外国人研究者もしくは学生とのマンツーマン研究ディスカッションを行う。								
(5)授業計画	英文読解とプレゼンテーション 1. 学術データベースを用いた英語論文の検索（目標の設定） 2. 検索でリストアップされた候補論文の絞り込み（英文の速読） 3. 電子ジャーナルの活用 4. 選択した論文の全訳②（英文の熟読） 5. 選択した論文の全訳②（英文の熟読） 6. 論文内容の理解（文章の論理構成の理解，引用文献の読解） 7. プレゼンテーション資料の作成（英文読解により得られた知識の活用） 8. 論文内容のプレゼンテーションと討論（到達度の確認）授業アンケートの実施								
(6)自主学習の指針	英語は科学研究における情報伝達とコミュニケーションのための必須ツール。トレーニング次第で必ず上達するが、目的意識を持って取り組むことが大切です。								
(7)成績評価の基準	取り組み姿勢により評価する。								
(8)事前事後学習の内容	TOEFLの受験を推奨します。								
(9)テストやレポートの予定	特に予定していない。								
(10)成績評価の方法	授業計画に挙げた内容に対する取り組みの成果を総合的に判断して評価する。なお出席回数の1/3以上欠席した場合は不可とします。 評価基準： S：90-100，A：80-89，B：70-79，C：60-69，D：59以下								
(11)質問、相談への対応および連絡先	研究室内で随時受け付ける。								
(12)履修上の注意	対象学生：生命機能科学コース3年生。研究室配属後の履修になります。研究室配属後直ちに開始する。								
【教科書】	指定しない								
【参考書】	適宜紹介する。 英語学習に以下の本を勧めする。 “Outliers” by Malcolm Gladwell								